

# 高知県の水防への取り組みについて

令和7年5月26日  
高知県 土木部 河川課



# 高知県水防本部設置回数(H31～R6年度)

年度	回数	水防指令第3号	備 考
H 3 1 (R 元)	2 1	8	5/20～5/21 6/27 7/10～7/11 7/18～7/19 8/13～8/16 9/7～9/8 10/2～10/3 1/27～1/28 低気圧に伴う豪雨 梅雨前線に伴う豪雨 梅雨前線に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨 台風10号 低気圧に伴う豪雨 台風18号 低気圧に伴う豪雨
R 2	2 4	4	7/3～7/5 7/6～7/7 9/11～9/12 9/25 梅雨前線に伴う豪雨 梅雨前線に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨
R 3	2 2	6	7/17～7/19 8/13～8/15 8/17～8/20 8/21～8/22 9/8～9/9 9/17～9/18 梅雨前線に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨 台風14号
R 4	1 3	3	7/4～7/5 7/31 9/17～9/20 台風4号 低気圧に伴う豪雨 台風14号
R 5	1 5	7	4/7 5/7～5/8 6/2～6/3 8/8～8/11 8/17～8/18 8/23 8/31 低気圧に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨 梅雨前線に伴う豪雨 台風6号 低気圧に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨 低気圧に伴う豪雨
R 6	1 4	2	8/28～8/30 5/28 台風10号 低気圧に伴う豪雨

水防指令第3号・・・水害発生のおそれがある場合に発令  
(河川水位が氾濫注意水位を超えた場合)

# 想定最大規模降雨を対象とした洪水浸水想定区域の指定・公表について

## ・リスク情報空白域の解消

(平成27年水防法改正)

想定最大規模の洪水(外水)、雨水出水(内水)、高潮に対応したハザードマップ作成エリア(浸水想定区域)は、洪水等により大きな被害が発生する河川(洪水予報河川、水位周知河川)、公共下水道等の排水施設(水位周知下水道)、海岸(水位周知海岸)が対象

### 【背景】

令和元年東日本台風では、阿武隈川水系の中小河川において、人的被害が発生



(令和3年水防法改正：法第14条、第14条の2、第14条の3)

想定最大規模の洪水(外水)、雨水出水(内水)、高潮に対応したハザードマップ作成エリア(浸水想定区域)を、現行の大河川等から住宅や要配慮者利用施設などの防御対象のあるすべての河川流域、下水道、海岸に拡大

### 【国の目標】

洪水浸水想定区域を設定する河川の目標数(全国)

(現在) 約2,000河川 → (今後) 約17,000河川 (2025年度)

# 洪水浸水想定区域図の公表について

【事業主体：県】

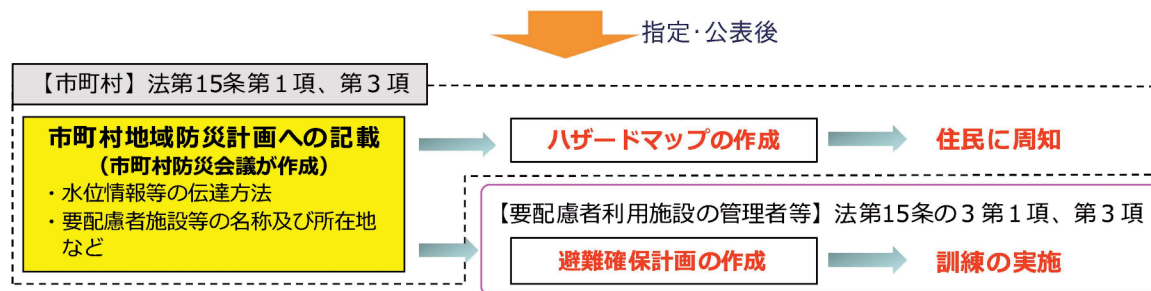
## ①洪水浸水想定区域とは

想定し得る最大規模※の降雨により、河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を「洪水浸水想定区域」という。

※年超過確率 1 / 1,000以上の降雨

## ②法改正の概要

- (1) 平成27年 水防法改正  
⇒ 氾濫した場合に大きな被害が発生する重要な河川(洪水予報河川、水位周知河川)で想定最大規模の降雨を対象とする新たな浸水想定区域の指定・公表が義務化
- (2) 平成30.12月「異常豪雨の頻発化に備えたダム洪水調節機能に関する検討会」開催  
⇒ 国に対しダム下流河川における浸水想定図を直ちに作成するよう提言
- (3) 平成29年1月「大規模氾濫に対する減災のための治水対策検討小委員会」開催  
⇒ 国は、水位周知河川に指定されていない河川においても浸水実績等をできる限り把握し、水害リスク情報として周知するよう小委員会から答申
- (4) 令和3年水防法改正  
⇒ 想定最大規模の降雨を対象とする新たな浸水想定区域の指定・公表の義務化河川が、住宅や要配慮者利用施設等の防護対象がある河川にまで拡充(約400河川)



## ④今後の取り組み(目標)

### 指定目標

令和7年度末までに洪水浸水想定区域図の指定・公表を目標に取り組む

⇒ 指定を受けた市町村

- ・市町村地域防災計画に気象情報の伝達方法、避難場所や避難経路等を定めるとともに、浸水ハザードマップを作成し、住民等に周知
- ・要配慮者利用施設の管理者等は、避難確保計画の作成、訓練の実施

## ③現状

(1) 洪水予報河川、水位周知河川  
四万十川、仁淀川、物部川、鏡川、国分川、松田川、安芸川など10河川について、令和3年2月までに指定・公表完了。

(2) ダム下流河川  
吉野川(早明浦ダム)、中筋川(中筋川ダム)、坂折川(桐見ダム)、香宗川・山北川(鎌井谷ダム)など11河川について、令和4年3月までに指定・公表完了。

(3)(4) 住宅や要配慮者利用施設等の防護対象がある河川

令和4年度

奈半利川、安田川、和食川、新莊川など13河川で公表。

令和5年度

日下川、福良川、下ノ加江川など45河川で公表。

令和6年度

○吉野川、四万十川、野根川、夜須川、久礼川、与市明川など139河川で公表。

※ 累計197河川の指定・公表完了。

○仁淀川や四万十川の支川など残る225河川で区域図公表に着手。

令和7年度

○上記225河川について指定・公表予定。

R6迄：197／422河川 指定・公表完了  
R7：422／422河川 指定・公表完了目標



# 要配慮者利用施設(※)に係る避難の実効性確保

※要配慮者利用施設とは、社会福祉施設、学校、医療施設  
その他の主として防災上の配慮を要する方々が利用する施設

(平成29年水防法・土砂災害防止法改正)

- ・市町村は、洪水等の浸水想定区域(水防法)や土砂災害警戒区域(土砂災害防止法)にある要配慮者利用施設を地域防災計画に位置付け
- ・施設の管理者または所有者は、避難計画の作成・報告と訓練の実施が義務化

## 【背景】

令和2年7月豪雨により、避難計画が作成されていた老人ホームで人的被害が発生



(令和3年水防法・土砂災害防止法改正)

水防法第15条の3第5項、第6項、土砂災害防止法第8条の2第5項、第6項

- ・避難訓練の実施結果を市町村に報告することが義務化
- ・避難計画や避難訓練に対し、市町村が助言・勧告ができる

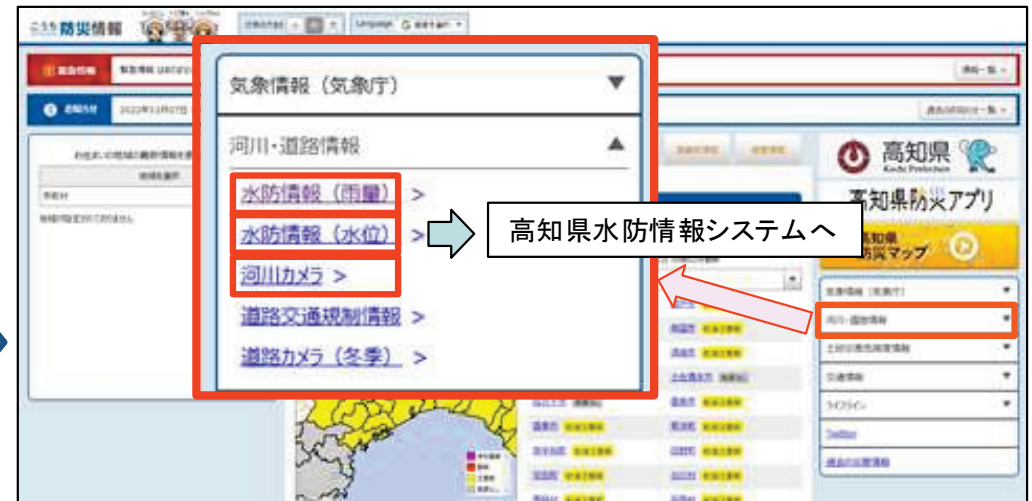
【高知県内の避難計画の作成状況（令和7年3月31日時点）】

- ・洪水浸水想定区域内の要配慮者利用施設（市町村地域防災計画に位置付けられた施設が対象）  
作成済：1,155施設 対象施設：1,477施設 作成率88.0% 避難訓練実施：748施設 実施率57.0%
- ・土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設（市町村地域防災計画に位置付けられた施設が対象）  
作成済：618施設 対象施設：622施設 作成率99.5% 避難訓練実施：363施設 実施率58.5%

引き続き、対象となる全ての施設での避難計画の作成と訓練実施を目指す

# 水位・雨量等の情報を見るには？

## ①高知県のHP→こうち防災情報 (https://kochi-bousai.my.site.com/)



## ②高知県のHP→河川課のHP→防災情報 →高知県水防観測情報

<http://suibokouho.suibou.bousai.pref.kochi.lg.jp/>



携帯・スマートフォン用  
サイト

## ③高知県防災アプリ

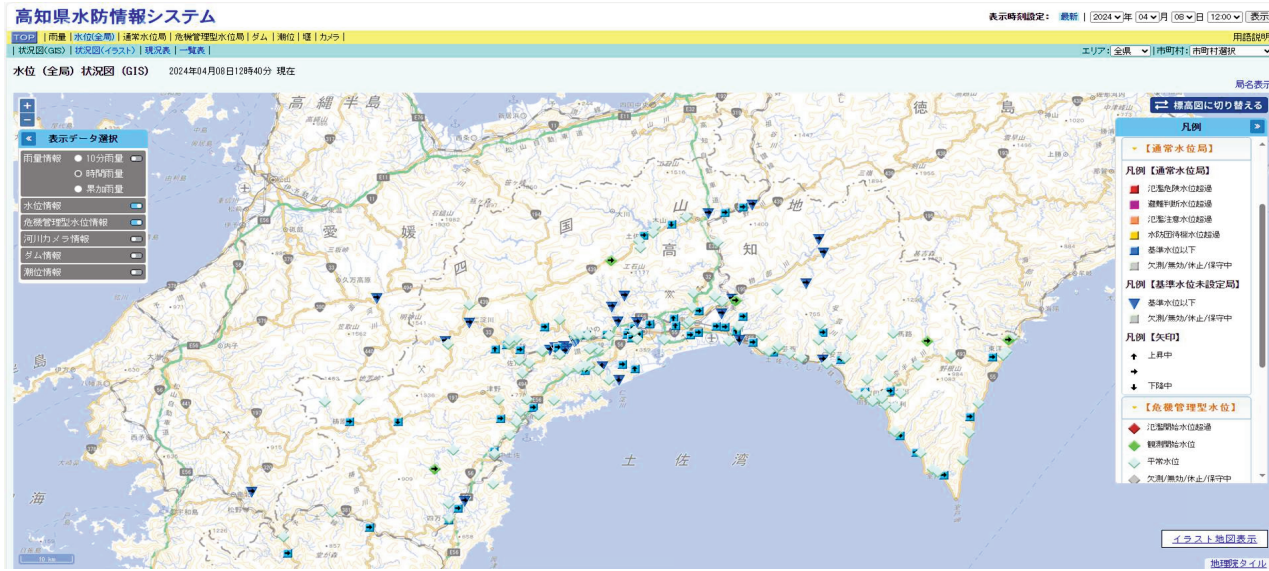


アプリインストール用  
QRコード

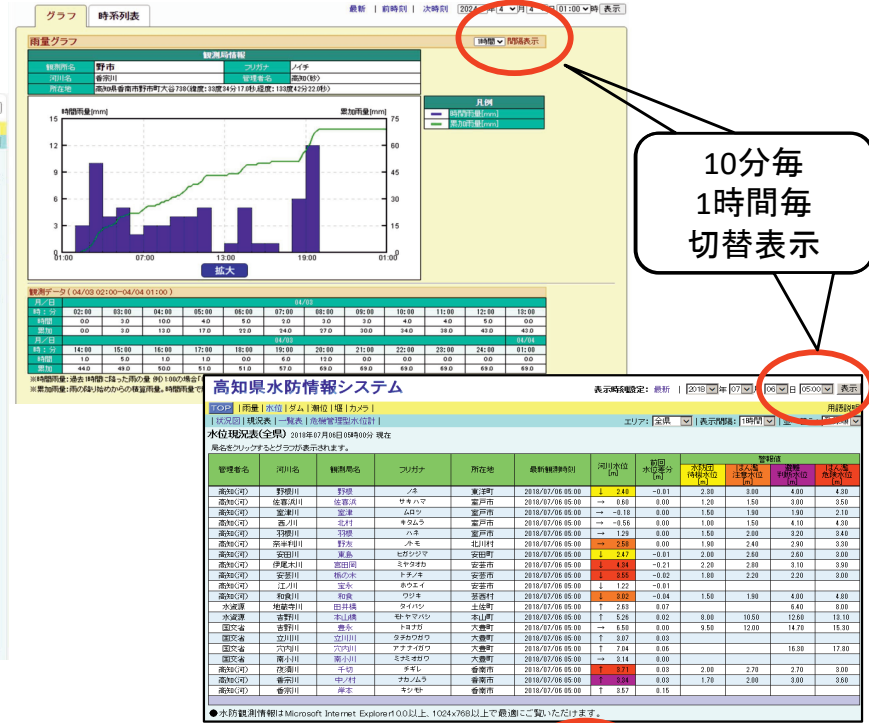
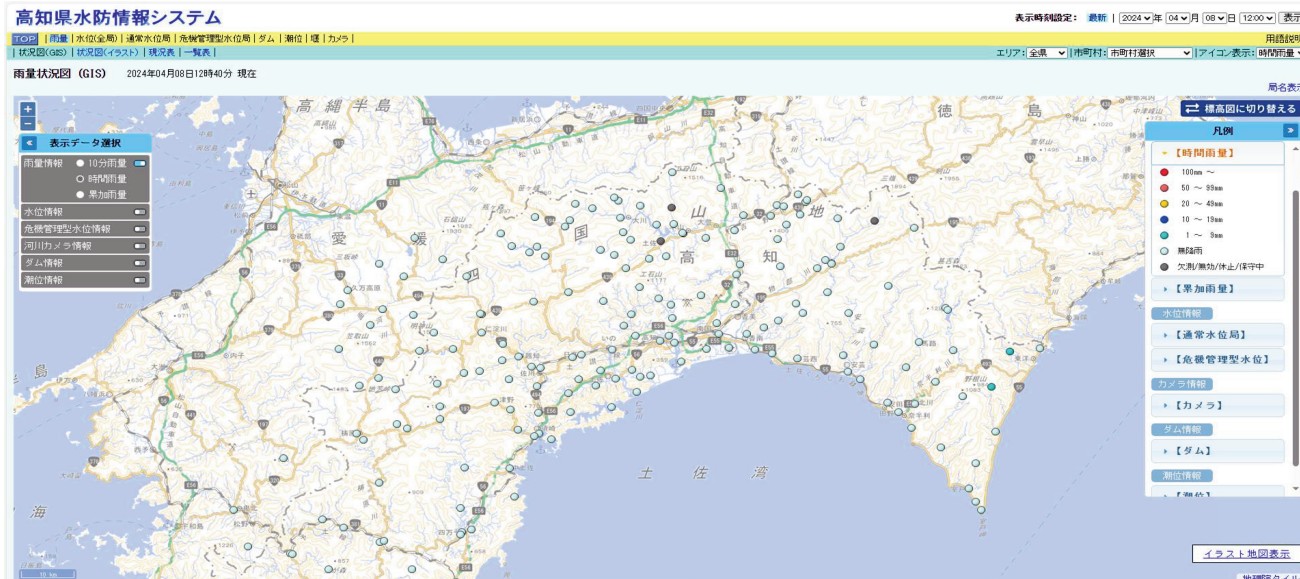


# 高知県水防情報システム

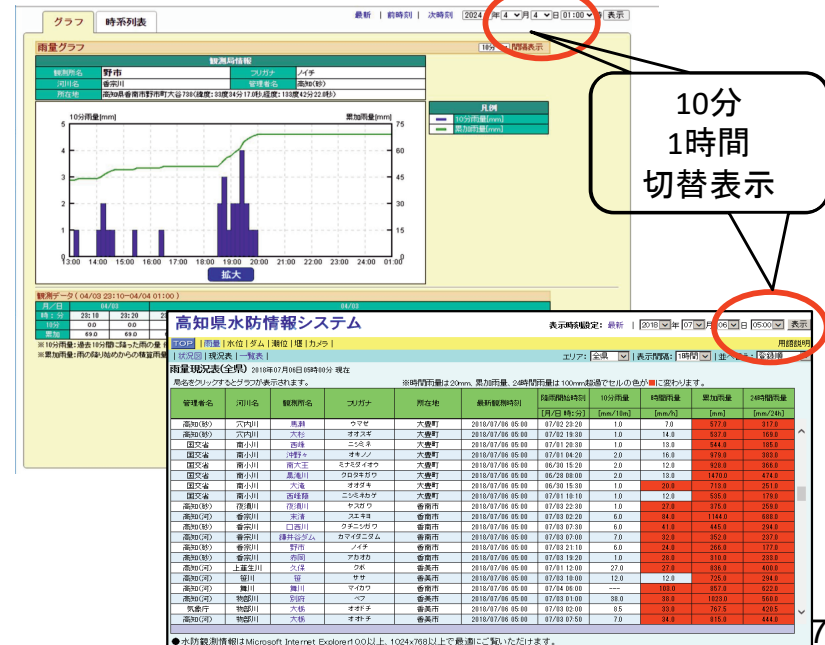
## ◆水位局表示 243箇所 (危)137箇所含む



## ◆雨量局表示 220箇所



10分毎  
1時間毎  
切替表示



10分  
1時間  
切替表示



# 高知県水防情報システム

## ●監視カメラ 152箇所(県管理 簡易型河川監視カメラ 29箇所含む)

### 高知県水防情報システム

TOP | 雨量 | 水位(全局) | 通常水位局 | 危機管理型水位局 | ダム | 潮位 | 堰 | カメラ |  
| 設置図(GIS) | 設置図(イラスト) | サムネイル |

用語説明  
エリア: 全県 | 市町村: 市町村選択

河川監視カメラ状況図 (GIS) 2024年04月08日12時53分 現在

